

# 心の輪11R




『雨の日の届け物』という資料を通して、  
「友情」について考えました！



友達のことを「いじわる」「嫌だな」という気持ちで話すのではなく、思いやったり、相手の気持ちになって話したりすることがとても大切なことなんだと分かりました。

私は今日の授業で、仲の良い友達だから正直に気持ちをぶつけることが大切なんだなと思いました。ひとみと私は仲が良いからすれ違うこともあるけど、相手を尊敬し合うと良いと思いました。

今日は、友達関係について考えてみて、私は相手の気持ちに気付くことの大切さが分かりました。これから、友達との心のすれ違いがあっても、今日学んだことを生かして生活していきたいです。

気持ちのすれ違いで関係が悪くなってしまったときは、相手に気持ちが伝わるように言葉や形で表せば、前よりもっと仲が深まると思った。

友達との気持ちがすれ違ってしまっても、自分の正直な気持ちを伝えれば、仲直りができることが分かった。あと、気持ちは言葉だけでは伝わらないかもしれないことが分かった。

友達と何かをするときは、ずっと他の人に何かを考えてもらうのではなく、自分からも相手がどう思っているのかを考えながらすると、自分の考えも相手に伝わるということ学んだ。

「自分の気持ちばかり考えて、全然ひとみの気持ちを考えていなかった。」このすれ違いは、まだ自分の中ではないけど、あった時に、『一番に人の気持ちに気が付けられる人になりたい』と、この授業を通して改めて思った。

友人を得たきっかけ (各国比較)

(%)

国名	順位	1位	2位	3位	4位	5位
日本	学校で	91.5	職場で(アルバイト先を含む) 36.6	学校以外のクラブ・グループで 16.2	近所で 12.3	同郷ということで 7.6
韓国	学校で	89.0	学校以外のクラブ・グループで 30.0	職場で(アルバイト先を含む) 20.0	近所で 15.2	同郷ということで 11.5
アメリカ	学校で	84.1	職場で(アルバイト先を含む) 47.6	近所で 39.9	同郷ということで 33.1	学校以外のクラブ・グループで 27.4
スウェーデン	学校で	89.6	同郷ということで 37.2	学校以外のクラブ・グループで 36.8	職場で(アルバイト先を含む) 36.0	近所で 35.6
ドイツ	学校で	55.7	学校以外のクラブ・グループで 32.6	近所で 30.7	同郷ということで 28.6	職場で(アルバイト先を含む) 26.5

(第7回世界青年意識調査による)

18歳から24歳を対象としたこのアンケートでは、いずれの国も、友人を得たきっかけの1位は「学校」となっている。

このデータを見て、あなたはどんな感想をもちますか？

『中学生の道徳1 自分を見つめる』  
(出版：あかつき) P.83より引用

気持ちのすれ違いで、二人の関係が悪くなったけど、最後はお互いの気持ちを理解し合うことができていて、この話を自分と比べて考えていくことができた。

多分、この女の子とひとみは、久しぶりに会ったから接し方が分からなくて、お互いの気持ちが分からなくなっていたんだと思った。私もこういうことがあったから、気持ちが分かった。

今日の授業で学んだことは、『友達・仲間の大切さ』です。本当の友達とは、ケンカをするときもあるけれど、それだけお互いを大切に思っているのではないかと思いました。

誰かが他の人のことを思って行動しても、自分が自己中心的に考えていたら気持ちのすれ違いが起ってしまうことが分かった。

深い話だなあと思った。自分も、一生付き合ってくれる友達がつくれるような行動をしたいと思った。友達に不快な思いをさせたくないなと思った。